



はじめる前に

Cisco Firepower 1000 は、ビジネスの復元力、容易な管理、脅威に対する防御機能を提供します。優れたパフォーマンスを安定して確保しつつ、高度な脅威検出機能を有効にできます。Cisco Firepower 1000 シリーズは、小規模オフィスからリモートブランチまでさまざまなユースケースに対応します。

専用の管理ネットワークで Cisco Secure Firewall Management Center を使用してファイアウォールを管理します。

- [ファイアウォールの電源の投入](#) (1 ページ)
- [インストールされているアプリケーション \(Firewall Threat Defense または ASA\) の確認](#) (3 ページ)
- [Firewall Threat Defense CLI へのアクセス](#) (4 ページ)
- [バージョンの確認と再イメージ化](#) (5 ページ)
- [ライセンスの取得](#) (6 ページ)
- [\(必要な場合\) ファイアウォールの電源オフ](#) (7 ページ)

ファイアウォールの電源の投入

システムの電源は、ファイアウォールの背面にあるロッカー電源スイッチによって制御されます。ロッカー電源スイッチは、ソフト通知を提供します。これにより、システムのグレースフルシャットダウンがサポートされ、システムソフトウェアおよびデータの破損のリスクが軽減されます。



(注) ファイアウォールを初めて起動するときは、Firewall Threat Defense の初期化に約 15 ～ 30 分かかります。

始める前に

ファイアウォールに対して信頼性の高い電力を供給することが重要です (無停電電源装置 (UPS) を使用するなど)。最初のシャットダウンを行わないで電力が失われると、重大なファイルシステムの損傷を引き起こす可能性があります。バックグラウンドでは常に多数のプ

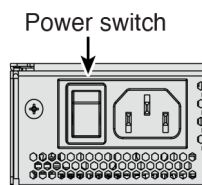
ロセスが実行されていて、電力が失われると、システムをグレースフルシャットダウンできません。

手順

ステップ1 電源コードをファイアウォールに接続し、電源コンセントに接続します。

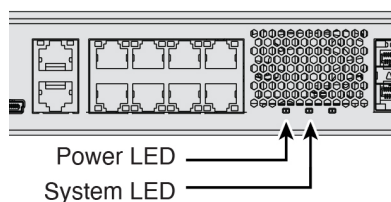
ステップ2 シャーシの背面で、電源コードに隣接するロッカー電源スイッチを使用して電源をオンにします。

図1:電源スイッチ



ステップ3 LED の現在のステータスを確認します。

図2:LED



- 電源 LED：緑色で点灯している場合は、ファイアウォールの電源がオンになっていることを意味します。
- システム（S）LED：次の動作を参照してください。

表1:システム（S）LEDの動作

LED の動作	説明	デバイスの電源を入れた後の時間（分:秒）
緑色で高速点滅	起動中	01:00
オレンジ色で高速点滅（エラー状態）	起動に失敗しました	01:00
緑色で点灯	アプリケーションがロードされました	15:00 ～ 30:00

LED の動作	説明	デバイスの電源を入れた後の時間（分：秒）
オレンジ色で点灯（エラー状態）	アプリケーションのロードに失敗しました	15:00 ～ 30:00

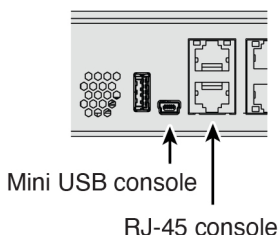
インストールされているアプリケーション（Firewall Threat Defense または ASA）の確認

Firewall Threat Defense と ASA の両方のアプリケーションが、ハードウェアでサポートされています。コンソールポートに接続し、出荷時にインストールされているアプリケーションを確認します。

手順

ステップ 1 いずれかのポートタイプを使用してコンソールポートに接続します。

図 3: コンソールポート



ステップ 2 CLI プロンプトを参照して、ファイアウォールで Firewall Threat Defense または ASA が実行されているかどうかを確認します。

Firewall Threat Defense

Firepower ログイン（FXOS）プロンプトが表示されます。ログインして新しいパスワードを設定せずに、切断することができます。ログインを完了する必要がある場合は、[Firewall Threat Defense CLI へのアクセス（4 ページ）](#)を参照してください。

```
firepower login:
```

ASA

ASA プロンプトが表示されます。

```
ciscoasa>
```

ステップ3 間違ったアプリケーションが実行されている場合は、[Cisco Secure Firewall ASA](#) および [Secure Firewall Threat Defense 再イメージ化ガイド](#)を参照してください。

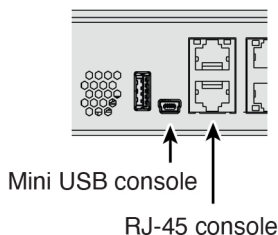
Firewall Threat Defense CLI へのアクセス

設定またはトラブルシューティングのためにCLIにアクセスする必要がある場合があります。

手順

ステップ1 いずれかのポートタイプを使用してコンソールポートに接続します。

図 4: コンソールポート



ステップ2 FXOS に接続します。ユーザー名 **admin** とパスワード（デフォルトは **Admin123**）を使用して CLI にログインします。初めてログインしたとき、パスワードを変更するよう求められます。

```
firepower login: admin
Password: Admin123
Successful login attempts for user 'admin' : 1

[...]

Hello admin. You must change your password.
Enter new password: *****
Confirm new password: *****
Your password was updated successfully.

[...]

firepower#
```

ステップ3 Firewall Threat Defense CLI に変更します。

（注）

初期セットアップに Firewall Device Manager を使用する場合は、Firewall Threat Defense CLI にアクセスしないでください（アクセスすると、CLI セットアップが開始されます）。

connect ftd

Firewall Threat Defense CLI に初めて接続すると、初期セットアップを完了するように求められます。

例：

```
firepower# connect ftd  
>
```

Firewall Threat Defense CLI を終了するには、**exit** または **logout** コマンドを入力します。このコマンドにより、FXOS プロンプトに戻ります。

例：

```
> exit  
firepower#
```

バージョンの確認と再イメージ化

ファイアウォールを設定する前に対象バージョンをインストールすることをお勧めします。別の方法として、稼働後にアップグレードを実行することもできますが、設定を保持するアップグレードでは、この手順を使用するよりも時間がかかる場合があります。

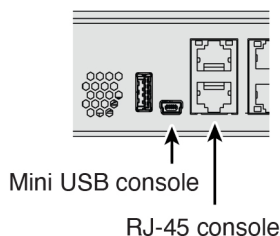
実行するバージョン

ソフトウェア ダウンロード ページのリリース番号の横にある、金色の星が付いている Gold Star リリースを実行することをお勧めします。 <https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/security/firewalls/bulletin-c25-743178.html> で説明されているリリース戦略を参照することもできます。

手順

ステップ1 いずれかのポートタイプを使用してコンソールポートに接続します。

図 5: コンソールポート



ステップ2 FXOS CLI で、実行中のバージョンを表示します。

scope ssa

show app-instance

例：

```
Firepower# scope ssa
Firepower /ssa # show app-instance
```

Application Name	Slot	ID	Admin State	Operational State	Running Version	Startup Version	Cluster Oper State
ftd	1		Enabled	Online	7.6.0.65	7.6.0.65	Not Applicable

ステップ 3 新しいバージョンをインストールする場合は、次の手順を実行します。

- a) デフォルトでは、管理インターフェイスは DHCP を使用します。管理インターフェイスに静的 IP アドレスを設定する必要がある場合は、次のコマンドを入力します。

```
scope fabric-interconnect a
```

```
set out-of-band static ip ip netmask netmask gw gateway
```

```
commit-buffer
```

- b) [FXOS のトラブルシューティング ガイド](#)に記載されている[再イメージ化の手順](#)を実行します。

管理インターフェイスからアクセスできるサーバーから新しいイメージをダウンロードする必要があります。

ファイアウォールが再起動したら、FXOS CLI に再度接続します。

- c) FXOS CLI で、管理者パスワードを再度設定するように求められます。

ライセンスの取得

ライセンスは、シスコまたは販売代理店からデバイスを購入した際に、スマートソフトウェアライセンシングアカウントにリンクされています。[Smart Software Manager](#) にアカウントがない場合は、リンクをクリックして[新しいアカウントを設定](#)します。

まだの場合は、Smart Software Manager に Firewall Management Center を登録します。登録を行うには、Smart Software Manager で登録トークンを生成する必要があります。詳細な手順については、[Cisco Secure Firewall Management Center アドミニストレーション ガイド](#)を参照してください。

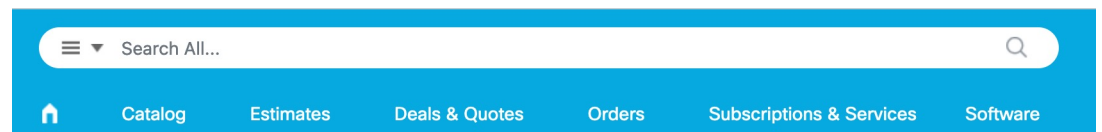
Firewall Threat Defense には次のライセンスがあります。

- Essentials：必須
- IPS
- マルウェア防御

- URL フィルタリング
- Cisco Secure Client

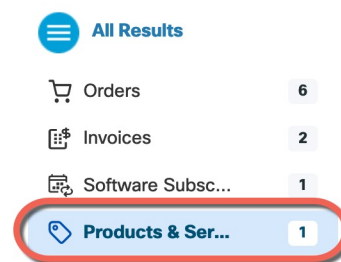
1. 自身でライセンスを追加する必要がある場合は、[Cisco Commerce Workspace](#) で [すべて検索 (Search All)] フィールドを使用します。

図 6: ライセンス検索



2. ライセンス PID を検索します。必要な PID については、発注ガイドを参照してください。
3. 結果から、[製品とサービス (Products & Services)] を選択します。

図 7: 結果



(必要な場合) ファイアウォールの電源オフ

システムを適切にシャットダウンすることが重要です。単純に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを押したりすると、重大なファイルシステムの損傷を引き起こすことがあります。バックグラウンドでは常に多数のプロセスが実行されており、電源プラグを抜いたり、電源を切断したりすると、ファイアウォールシステムをグレースフルシャットダウンできません。

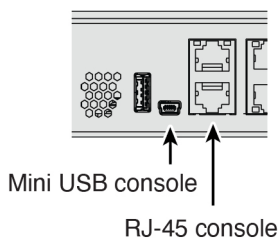
CLI におけるファイアウォールの電源の切断

FXOS CLI を使用すると、システムを安全にシャットダウンしてファイアウォールの電源を切断できます。

手順

ステップ 1 いずれかのポートタイプを使用してコンソールポートに接続します。

図 8: コンソール ポート



ステップ 2 FXOS CLI でローカル管理モードに接続します。

```
firepower # connect local-mgmt
```

ステップ 3 システムをシャットダウンします。

```
firepower(local-mgmt) # shutdown
```

例 :

```
firepower(local-mgmt)# shutdown
This command will shutdown the system. Continue?
Please enter 'YES' or 'NO': yes
INIT: Stopping Cisco Threat Defense.....ok
```

ステップ 4 ファイアウォールのシャットダウン時にシステムプロンプトをモニターします。シャットダウンが完了すると、次のプロンプトが表示されます。

```
System is stopped.
It is safe to power off now.
Do you want to reboot instead? [y/N]
```

ステップ 5 必要に応じて電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてシャーシから物理的に電源を取り外すことができます。

Firewall Management Center を使用したファイアウォールの電源切断

Firewall Management Center を使用してシステムを適切にシャットダウンします。

手順

ステップ 1 ファイアウォールをシャットダウンします。

- [デバイス (Devices)] > [デバイス管理 (Device Management)] を選択します。
- 再起動するデバイスの横にある [編集 (Edit)] (✎) をクリックします。
- [デバイス (Device)] タブをクリックします。
- [システム (System)] セクションで [デバイスのシャットダウン (Shut Down Device)] (🔌) をクリックします。

e) プロンプトが表示されたら、デバイスのシャットダウンを確認します。

ステップ 2 コンソールからファイアウォールに接続している場合は、ファイアウォールがシャットダウンするときにシステムプロンプトをモニターします。シャットダウンが完了すると、次のプロンプトが表示されます。

```
System is stopped.  
It is safe to power off now.
```

```
Do you want to reboot instead? [y/N]
```

コンソールから接続していない場合は、約3分間待つてシステムがシャットダウンしたことを確認します。

ステップ 3 必要に応じて電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてシャーシから物理的に電源を取り外すことができます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。